



イフジ産業株式会社

JASDAQ

証券コード2924

第39期 年次報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

意思ある卵



株主のみなさまへ



代表取締役社長
藤 井 徳 夫

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの東日本大震災により被災を受けた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

ここに、第39期の事業の概況をご報告申し上げるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

■営業の概況

食品業界におきましては、所得環境が厳しいことで消費者の節約志向が継続するなか、夏場の記録的な猛暑による消費減退も加わり、大変厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社におきましては、収益力の強化と企業価値の向上を念頭に、販売シェアの拡大、需給調整機能の発揮、安全・安心な製品提供、生産性向上へとつなげてまいりました。

また、当社グループの日本化工食品株式会社は、経営体質の強化が行われ、第二の柱として成長いたしました。

しかしながら、鶏卵業界におきまして、夏場の猛暑や冬場の鳥インフルエンザの発生により採卵鶏が減少しました。そのことによって鶏卵需給がタイトに推移したことで、当社の原料買付単価が上昇しました。また、東日本大震災による損害で特別損失を計上した結果、損益面におきましては前期の業績を上回る結果には至りませんでした。



▶ 売上高

11,742 百万円
23.7 %増



▶ 営業利益

705 百万円
19.3 %減



▶ 当期純利益

282 百万円
39.1 %減

今後の当社を取り巻く環境といたしましては、東日本大震災の影響は計り知れず、東北・関東地区の養鶏農場は、津波による沿岸の飼料工場の被災による餌不足、電力・水不足もあり厳しい経営状況が続くと思われます。

■次期の見通し

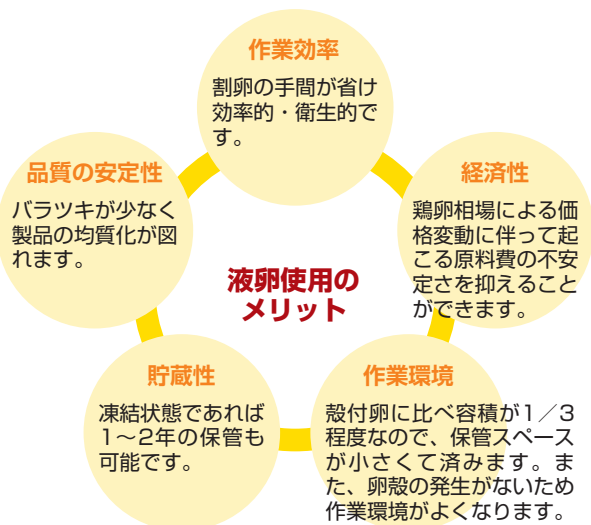
今後の需要動向といたしましては、取引先工場の被災や資材不足、夏場の電力不足が懸念されるため、東日本の需要が若干下がるの見込んでおります。このような状況をふまえ当社グループといたしましては、安定的な製品供給を行うことを第一と考え、お客様に満足いただけるサービスを柔軟に打ち出し、販路を拡大すべく努力してまいります。

また、昨年度末に発生しました鳥インフルエンザや東日本大震災による鶏の減少により、鶏卵相場が高く推移すると予測しております。このような状況を踏まえ、需要予測のスピードをあげ、鶏卵市況を注視し、営業・購買・製造との連携強化を図ることで、お客様のニーズに即応できる体制を整えてまいります。

株主の皆様方におかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

Business Outline



当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。

液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、クッキー
卵黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

3

商品ラインナップ



液卵



ホール



卵黄



全卵



卵白



茶わん蒸しベース



冷凍卵



冷凍卵ミニパック・全卵



冷凍卵ミニパック・加糖卵黄



冷凍卵ミニパック・卵白

4



ニーズに応える安定供給

三位一体の供給体制

製造

安定品質を確保

HACCPに準拠した工程管理
最新鋭設備導入

購買

独自の購買体制を構築

需給調整機能
安定買い付け

流通

全国配送を実現

全国4工場のネットワーク
で万全の配送体制



関東事業部



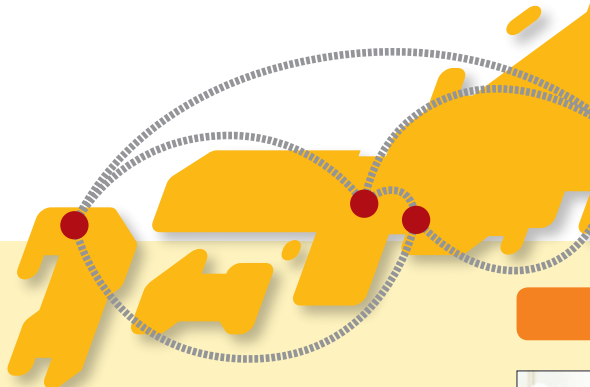
名古屋事業部



関西事業部



福岡事業部



■独立系最大手の強みを活かして

食の基本インフラとも言うべき卵市場は、安定した成熟市場。その中であって、液卵をはじめとする加工卵の市場は着実に広がっています。当社は、そんな液卵市場のシェアを分け合う大手メーカーの中で唯一の独立系メーカー。系列に縛られない自由な経営環境のもと、地域密着・顧客密着の営業体制を確立し、着実な成長を続けてまいります。

■お客様重視のネットワーク

当社は、関東、東海、関西、北部九州という大消費地に工場を立地しており、このお客様重視の工場立地政策も積極的な市場開拓を可能にする大きなアドバンテージになっております。

安心・安全のために



品質管理体制

平成11年、食品衛生法施行規則等の改正により液卵の規格基準が定められたことに伴い、品質管理のさらなる充実を目指して、製造工程における危害分析を行い、重要管理点を常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・冷凍卵を提供できる体制を確立しております。



温度管理体制

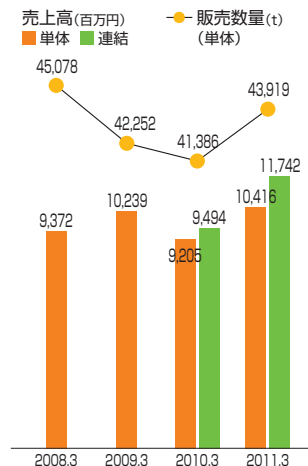
液卵・冷凍卵の原料となる鶏卵は入荷後8℃以下の冷蔵庫に保管され、割卵後の液卵は、自動記録による温度・時間が監視可能な殺菌機により適正に殺菌。殺菌された液卵は急速に3℃まで冷却・充填後、温度計を搭載した配送車でお客様までお届けしております。

さらなる安心のために

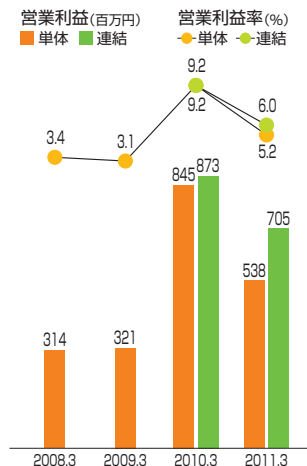
当社では、安全で高品質の液卵・冷凍卵を製造するためHACCPに準じて、原料入荷からお客様にお届けするまでの工程をシステム管理し、チェック体制を強化しております。このように、安全で安心な製品を提供するため、最新鋭設備を導入し、常に衛生的・効率的に生産できる工場を目指してまいります。

決算ハイライト

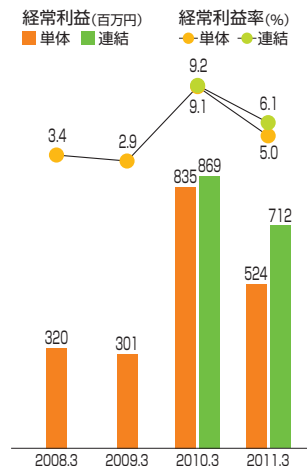
売上高／販売数量



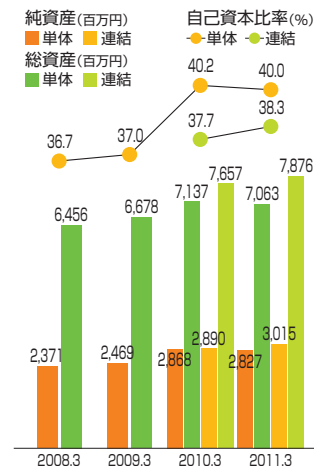
営業利益／営業利益率



経常利益／経常利益率



総資産／純資産／自己資本比率



決算書を読む3つのポイント

売上高と販売数量

当社単体の売上高は鶏卵相場によって変動します。よって当社の業績判断としては「販売数量」を併せてご覧ください。

対前期比

〈プラス要因〉

- ・大手製パンメーカーへの販売数量の増加
- ・製品保管料の減少

〈マイナス要因〉

- ・鶏卵需給がタイトに推移し相場の高止まりで原料単価が上昇（夏場の猛暑・急な寒波到来・鳥インフルエンザの発生）

災害による損失を計上しました。

- ・東日本大震災で当社関東事業部が被災したことをうけて、災害による損失362百万円を計上

利益還元

当社は配当性向を25%～30%を目標に利益の還元を行ってまいります。尚、2011年3月期につきましては1株当たり18円とさせていただきます。

		2008.3	2009.3	2010.3		2011.3	
		単 体	単 体	単 体	連 結	単 体	連 結
販 売 数 量	t	45,078	42,252	41,386	-	43,919	-
売 上 高	百万円	9,372	10,239	9,205	9,494	10,416	11,742
営 業 利 益	百万円	314	321	845	873	538	705
経 常 利 益	百万円	320	301	835	869	524	712
当 期 純 利 益	百万円	153	148	441	464	82	282
1株当たり当期純利益	円	27.69	26.81	79.54	83.54	14.92	50.86
1株当たり配当金	円	8	8	-	22	-	18
配 当 性 向	%	28.9	29.8	-	26.3	-	35.4

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	前期末 (平成22年3月31日現在)	当期末 (平成23年3月31日現在)
【資 産 の 部】		
流 動 資 産	3,342	3,548
固 定 資 産	4,315	4,328
有 形 固 定 資 産	3,900	4,045
無 形 固 定 資 産	14	22
投 資 そ の 他 の 資 産	400	260
資 産 合 計	7,657	7,876

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科 目	前期末 (平成22年3月31日現在)	当期末 (平成23年3月31日現在)
【負 債 の 部】		
流 動 負 債	2,553	2,538
固 定 負 債	2,213	2,322
負 債 合 計	4,767	4,861
【純 資 産 の 部】		
株 主 資 本	2,908	3,034
資 本 金	455	455
資 本 剰 余 金	366	366
利 益 剰 余 金	2,090	2,216
自 己 株 式	△4	△4
その他の包括利益累計額	△17	△18
その他有価証券評価差額金	△17	△18
純 資 産 合 計	2,890	3,015
負 債 純 資 産 合 計	7,657	7,876

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

9

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	前 期 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	当 期 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)
売 上 高	9,494	11,742
売 上 原 価	7,197	9,554
売 上 総 利 益	2,297	2,187
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,424	1,482
営 業 利 益	873	705
営 業 外 収 益	33	41
営 業 外 費 用	37	33
経 常 利 益	869	712
特 別 利 益	0	20
特 別 損 失	30	383
税金等調整前当期純利益	839	350
法人税、住民税及び事業税	391	48
法 人 税 等 調 整 額	△16	19
当 期 純 利 益	464	282

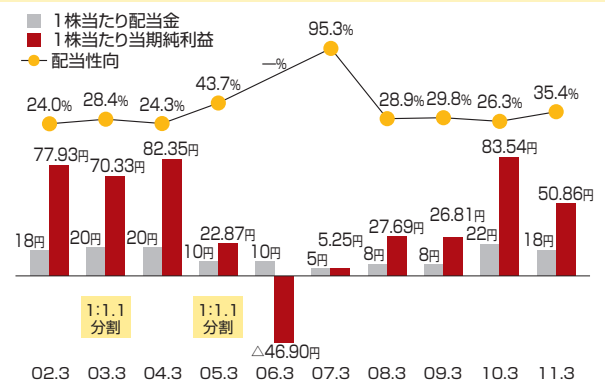
（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

配当金について

当社は、株主の皆様に対する適切な利益還元を重要な経営課題としており、またシェアおよび収益向上を図るための製造設備や研究開発等への投資が必要と考えております。

株主の皆様に対する利益還元策としては、今後の事業展開等を勘案し、配当性向25%～30%を目標としております。

2011年3月期につきましては、東日本大震災で当社関東事業部（茨城県）が被災しました。そのことを受けて災害による損失362百万円を計上したことにより当期純利益が大幅に減少しましたが、株主への配当を維持したいと考え、当初予定どおり1株当たり18円とさせていただきます。



（注）09.3までは単体、10.3以降は連結での1株当たり当期純利益を記載しています。

10

今後の施策



11

Pick-up

▶▶▶ 事業所内託児所で 仕事と育児の両立を支援

福岡、関東、関西の各事業所内に託児所を設置し、従業員の仕事と育児の両立を支援しています。託児所の確保が困難とされるなか、自社託児所に預けられることで、安心して仕事に集中できると好評です。



▶▶▶ 卵の殻を乾燥粉碎して再利用

環境保全の取り組みの一環として、年間約4,000t発生する卵殻の再利用を進めています。肥料・飼料用などに販売しているほか、卵殻乾燥粉碎機を設置し粉状で提供。グラウンド用白線、野球場で使われるロジンバッグ、チョーク、陶器などに生まれ変わり、再利用されています。



12



会社概要 (平成23年3月31日現在)

商 号	イフジ産業株式会社 (英訳名：Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
設立年月日	昭和47年10月3日
資 本 金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2312 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 TEL 092-938-4561 (代)
従業員数	91名(臨時従業員は除く。)
事業部	福岡事業部 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 TEL 092-938-4561 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合敷3-1 TEL 0774-99-4801 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7 TEL 0566-72-1611 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17 TEL 029-248-2311
グループ会社	日本化工食品株式会社 株式会社春日ビル

役 員	代表取締役社長 藤井 徳夫 専務取締役 井田 宗次郎 常務取締役 坂本 勇 取締役 池田 敬 取締役 坂原 文 取締役 原見 一郎 監査役(常勤) 高近 志 監査役 酒 井 善 監査役 井 善
-----	--

(平成23年6月28日現在)



◆ホームページのご案内

決算の詳しい情報は当社ホームページでご覧いただけます。またイフジ産業がわかる動画も配信しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ifuji.co.jp> ▲動画TOP画面

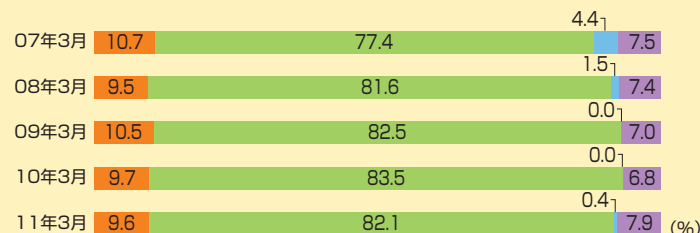
13



株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数	16,792,000株
発行済株式の総数	5,563,580株
株主数	3,095名
所有者別分布状況	

	07年3月	08年3月	09年3月	10年3月	11年3月
	千株	千株	千株	千株	千株
金融機関	597	530	585	540	533
個人	4,304	4,542	4,590	4,644	4,571
外国法人・外国人	245	82	0	1	20
その他法人	417	410	388	379	439



株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2924

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.e2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
MAIL: info@e-kabunushi.com

14

株主ご優待について

- 贈呈基準** 毎年3月31日現在の株主に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。
株式数100株以上1,000株未満
一律500円(100円券×5枚)
株式数1,000株以上
一律2,000円(100円券×20枚)
- 利用方法** 全国の主な百貨店およびスーパー等で卵の購入の際に利用できます。
- 有効期限** 発行日から5年
- 取扱店舗** 全国の主な百貨店およびスーパー等(詳しくは同封する書類に記載)



●株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会基準日** 毎年6月下旬
- 定時株主総会・期末配当** 毎年3月31日
- 株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 公告掲載方法** 日本経済新聞

●お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

尚、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。